

第2学年 学級活動指導案

日時：平成19年 2月14日(水) 6校時(14:35～15:25)
対象：盛岡市立上田中学校 2年3組 男子19名 女子16名 計35名
指導者：教諭 佃 拓生

1. 題材名 「自分たちの学習と生活を振り返る」 ～一人勉強から生活を見直す～

2. 題材設定の理由

(1) 題材について

特別活動の目標は「望ましい集団生活を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う」ことである。

生徒にとって、学級は各教科等の授業を受ける場であるとともに、学校生活を送る上での基礎的な生活の場である。また、学ぶ楽しさや喜びを知り、目的を持って意欲的に学習や諸活動に取り組むことは、誰より生徒自身の願いであるといえる。

しかし、生徒を取り巻く環境の多様化した現在、個人主義や社会性スキルの不足などにより、関係づくりを苦手を感じる生徒も多い。そのため、人間関係が希薄になり、表面的な協力にとどまると、生活集団としての学級活動において、生活上の諸問題について目的意識を共有化することが困難になる場合が出てくる。一方、学習については、教科の普遍的な価値観が存在し、個性の影響を受けにくいという側面がある。したがって、目的意識を共通化しやすい活動の一つとして、学級の学習集団としての改善を図ることは、支え合い、学び合い、お互いの個性や能力を尊重するといった経験をさせる活動としても十分適していると考えられる。

そこで本題材は、学級活動の「(1)学級や学校の生活の充実と向上に関すること」の内容について、「(3)学業生活の充実、将来の生き方と進路の適切な選択に関すること」の「自主的な学習態度の形成」と関連をもたせながら、学習集団としての学級の役割を見直し、その取り組みを通して相乗効果的に生活集団として向上していくことをねらいとしている。

(2) 生徒の実態

4月の学級編成をうけて、学級スローガン「ど根性大根」のもと、諸行事を経験し、それぞれが個性を發揮できる学級をめざして生活してきた。全体としては、集団の向上に積極的に取り組もうとする生徒が多く、学校行事などでは大変意欲的な姿が目立つようになっている。一方で、日常生活においては自分個人のことを優先してしまい、周囲の状況をあまり理解しないままにいるときがある。個人レベルで「一生懸命頑張りたい」という願いがあっても、具体的行動として見通しをもてず、結果として行動を起こすことができないままの生徒が多いようにも感じられる。しかも、事前の取り組みの中である程度満足してしまうと、「もう十分だろう」と思いこみ、結果へのこだわりが薄れるという傾向もあった。

また、行事等の振り返りでは、学級集団としての成果や反省で「積極的に取り組めたので良かった」「今後は協力して頑張りたい」とまとめられることが多い割に、個人でめざすのは集団の外にあるもの、全く別な次元のものなどのようにとらえてしまう傾向が強かった。ところが、学習面の個人の目標になると「学年平均より上」など、集団内の相対的なものが多くなりがちで、逆に個人内で、どちらかという絶対的な目標への執着があまり感じられない生徒もいる。

つまり、集団で取り組むべきものか、個人で取り組むべきものかの判断基準が不明確なままで、お互いの意識に差があるために、学級として活動する上では誤解を生じさせる原因の一つとなっているとも考えられる。さまざまな活動を通して、一人一人が視野を広げ、その共通項として「集団の向上」「個人の向上」について、考え方を共有することができるよう配慮していく必要がある。

(3) 指導構想

そこで、年度末の実力テストを控えた時期であることから、生徒主体の教科等の学習の事後指導として、学習のつまずきの原因やその克服の方法、自分にふさわしい学習の方法などについて、自ら課題を設け、周囲の仲間のアドバイスをもとにして調べ、自分なりに考えをまとめていく。これまでの取り組みを振り返ることで、「自ら学ぶ」ということがどのようなことなのか、認識を新たにできる時間にしたい。

その際、「学習と生活についての基本調査」(参考資料：Benesse 教育研究開発センター「第4回学習基本調査」)の分析を比較し、次の2つの点から課題設定へつなげていく。

「学習時間、日数、授業の取り組み方」などの項目は、全国値を上回っているにも関わらず、成績は下回っていること。

「上手な勉強方法が分からない」の項目で、学級の63.6%が「そう思う、少し思う」と回答していること。

実際、生徒にとって、学習という行為自体は個人レベルで行われるものと考えられがちであるが、学習の取り組みを相互に交流し合う過程で、学習集団としての機能に着目させていきたい。そして、すでに、交流によって、学習の仕方を改善したり、教え合ったりという場面を経験している生徒も多く、学習集団としての機能を意識することで、個人の学習にも大きな影響があることを実感していると考えられる。それらの意見をとり上げることで、相乗効果としての生活集団の向上について考えさせていきたい。

3. 指導計画

- | | |
|-----------------|---|
| (1) 本時以前の関連する学活 | ・自分の生活を見直す(家庭学習時間について)
・実力テストに向けて(テスト計画)……………短学活
・学習方法の工夫(一人勉強ノートの交流)……………短学活 |
| (2) 本時 | ・「自分たちの学習と生活を振り返る」 |
| (3) 本時以後の関連する学活 | ・実力テストの反省(個人) |

4. 本時の目標

- (1) 学習に取り組む仲間の決意や工夫を理解し、自らの学習への決意をまとめることができる。
- (2) 一人一人が学習に前向きな努力をすることが、集団生活の向上させる方法の一つであることを理解し、自らの日常を見直すことができる。

5. 本時の展開

段階	時間	教師の活動	生徒の活動	評価の視点	配慮事項	学習形態 教材・教具
意識 化	ふり 返る 8分	1. 実力テストに向けて努力しようと思っていることを発表させる。	1. 実力テストに向けて努力しようと思ったことや工夫したいと考えたことを発表する。			・わたしのノート ・基本調査(集計)
		2. アンケート結果から学級の学習状況について分析し考察させる。	2. アンケート結果から学級と全国値を比べて気づいた点を発表する。		2. 特に、7(1) 上手な勉強の仕方の項目を取り上げる。	
		3. 勉強の仕方に着目させて学習課題を設定する。	3. 分析結果の話し合いから学習課題を把握する。		3. 個人の勉強に関する課題をみんなで解決しようと思えばよい。	
<div style="border: 2px solid purple; padding: 5px; display: inline-block;"> テスト勉強していて、困っていることって何ですか？ </div>						
具 体 化	認め 合う 自分 自身 を ふり 返る 35分	4. 各自がテスト勉強を進める上で課題だと思っていることを複数あげさせる。	4. 普段から学習面で困っていることや悩んでいること等を複数あげる。		4. 箇条書きでもかまわない。	
		5. 小グループ内で交流させて、アドバイスをお互いに書かせる。	5. ブレーン・ライティングを用いて課題を交流し、互いにアドバイスのコメントを書く。	5. 仲間の課題に対して前向きなコメントを書くことができる。 <関>	5-1. 無言で作業させる。 5-2. コメント記入は時間を区切って行う。	
		6. 交流した結果から、自らの課題についての解決方法を探らせる。	6. 仲間のアドバイスをもとに自らの課題について解決方法を探る。		6. 学習へ取り組む視点を個人から集団へと切り替える。	
		7. ブレーン・ライティングをふり返り、学習課題を発展させて、学習集団としてのあり方について話し合いをさせる。	7-1. 解決方法を探る過程で気づいた点を発表させる。 7-2. 集団で学習に取り組むことよさに着目し、意見を発表し合う。		7. 必要があれば生活記録日誌のコメントを紹介する。	
総合・ 一般化	自分 の もの と す る 7分	8. 授業をふり返って、感想を書かせる。	8. 授業と今までの取り組みをふり返り、気づいたことや感想、一人勉強への決意などを書く。 <div style="border: 2px solid purple; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">一人勉強のときも、学級のみんで支え合っている。</div>	8. 集団とのかかわりをふまえ、学習への決意を新たにすることができる。 <関>		
		9. 感想を発表させて、相乗効果としての生活面の向上に着目させる。	9. 感想を発表し合い、学習の向上から生活面の広がりについて考える。	9. 学習への活動が生活を向上させる方法として見直すことができる。 <思>		

6. 本時の評価

- (1) 学習上の自らの課題を自覚し、今後の学習の取り組みに向けて、新たな決意をまとめることができたか。
- (2) ブレーン・ライティングなどの仲間のアドバイスを参考にして、自分たちの生活や学習をふり返ることができたか。

自分たちの学習について振り返る

11月に行われた「第3回実力テスト」のときに、こんなふうに住生活記録日誌に書いている人たちがいました。

「...疲れた。5教科のテストが終わった。勉強はしたつもりだけど、難しかった。...返ってきた数学。...ガンバったんだけどなあ...。」

「今日は実力テストの2日目だった。国語はダメだった。もうちょっと計画的に勉強すればよかった。」

まもなく、2年生としての学習をしめくくる「第4回実力テスト」が実施されます。一人勉強のノートには、これまでの反省をふまえ、それぞれに新たな決意で取り組んでいる姿が目立っています。これも、きっと学習への意識が成長したという証なんだろうなと。

そこで、今日は、それぞれの学習に対する考えの意識を振り返り、学習について思っていることや、困っていることなどを出し合っていきます。

より充実した取り組みにしてテストに挑戦してほしい。そう願っています。

1. あなたが、これまでのテストの反省から、今回の実力テストに向けて取り組むときに、努力しようと思ったことや、工夫したいと考えたことは何ですか？

2. 普段から学習について悩んでいることや、思うように学習が進まず困っていること、上手な勉強の仕方、苦手教科を克服する工夫などをあげてみましょう。

3. 仲間たちからアドバイスをもらいましょう。

4. 上のようなアドバイスをもらって、どんなことを感じましたか。

5. <今日のまとめ>

学習と生活についての基本調査

(参考資料: Benesse教育研究開発センター「第4回学習基本調査」)

1. あなたが好きだと思う教科を、2つだけ選びなさい。

国語 社会 数学 理科 英語

2. あなたは、学校の授業をどのくらい理解していますか。

- A: ほとんどわかっている
- B: 70%くらいわかっている
- C: 50%くらいはわかっている
- D: わからないことのほうが多い

3. あなたの授業中の様子についてお聞きします。

(1) 「黒板に書かれていなくても、先生の話で大切なことはノートに書く」

- A: よくある
- B: 時々ある
- C: あまりない
- D: ほとんどない

(2) 「授業でわからないことは、あとで先生に質問する」

- A: よくある
- B: 時々ある
- C: あまりない
- D: ほとんどない

4. あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、学校の授業以外に1日にだいたい何時間くらい勉強していますか。(学習塾や予備校、家庭教師等も含めてください。)

- A: ほとんどしない
- B: およそ30分
- C: 1時間
- D: 1時間30分
- E: 2時間
- F: 2時間30分
- G: 3時間
- H: それ以上

5. あなたはふだん、家でどのくらい勉強をしますか。(学習塾や予備校、家庭教師との学習は除きます)

- A: 家ではほとんど勉強しない
- B: 1日くらい
- C: 2～3日
- D: 4～5日
- E: 週に6～7日

6. テスト(実力テスト)前には、あなたはいつ頃からテスト勉強を始めますか。

- A: ほとんどしない
- B: 当日の朝くらい
- C: 前日から
- D: 2～3日くらい前から
- E: 4～5日くらい前から
- F: 1週間くらい前から
- G: 10日くらい前から
- H: 2週間くらい前から
- I: それ以上前から

7. あなたは勉強について、次のように思うことがありますか。

(1) 「上手な勉強の仕方がわからない」

- A: よく思う
- B: 時々思う
- C: あまり思わない
- D: ほとんど思わない

(2) 「どうしても好きになれない科目がある」

- A: よく思う
- B: 時々思う
- C: あまり思わない
- D: ほとんど思わない

(3) 「覚えなければいけないことが多すぎる」

- A: よく思う
- B: 時々思う
- C: あまり思わない
- D: ほとんど思わない

(4) 「わかりやすい授業にしてほしい」

- A: よく思う
- B: 時々思う
- C: あまり思わない
- D: ほとんど思わない

8. あなたは、次の意見をどう思いますか。

(1) 「いい友だちがいると幸せになれる」

A: とても思う B: まあまあ思う C: あまり思わない D: ほとんど思わない

(2) 「日本は、努力すればむくわれる社会だ」

A: とても思う B: まあまあ思う C: あまり思わない D: ほとんど思わない

(3) 「いい大学を卒業すると、将来幸せになれる」

A: とても思う B: まあまあ思う C: あまり思わない D: ほとんど思わない

(4) 「将来、一流の会社に入ったり、一流の仕事につきたい」

A: とても思う B: まあまあ思う C: あまり思わない D: ほとんど思わない

(5) 「日本は、競争が激しい社会だ」

A: とても思う B: まあまあ思う C: あまり思わない D: ほとんど思わない

(6) 「お金がたくさんあると幸せになれる」

A: とても思う B: まあまあ思う C: あまり思わない D: ほとんど思わない

9. あなたはふだん（月曜日～金曜日）、テレビを1日に何時間くらい見ますか。

A: ほとんどしない

B: およそ30分

C: 1時間

D: 1時間30分

E: 2時間

F: 2時間30分

G: 3時間

H: それ以上

10. ふだん（学校の授業や宿題以外で）次のことをどのくらいしますか。

(1) 「自然や動物・植物の本を読む」

A: よくする B: 時々する C: あまりしない D: ほとんどしない

(2) 「歴史小説や歴史の本を読む」

A: よくする B: 時々する C: あまりしない D: ほとんどしない

(3) 「地域の図書館で本を読んだり借りたりする」

A: よくする B: 時々する C: あまりしない D: ほとんどしない

(4) 「新聞のニュースを読む」

A: よくする B: 時々する C: あまりしない D: ほとんどしない

11. あなたは、自分のからだについて、次のように感じることはありませんか。

(1) 「あくびができる」

A: とてもある B: 少しある C: あまりない D: ほとんどない

(2) 「いらいらする」

A: とてもある B: 少しある C: あまりない D: ほとんどない

(3) 「だるい」

A: とてもある B: 少しある C: あまりない D: ほとんどない

(4) 「目が疲れやすい」

A: とてもある B: 少しある C: あまりない D: ほとんどない

これで調査はおしまいです。ご協力ありがとうございました。

2年 組 番 氏名

学習と生活についての基本調査(集計)

(参考資料: Benesse教育研究開発センター「第4回学習基本調査」)

1. あなたが好きだと思う教科を、2つだけ選びなさい。

	国語	社会	数学	理科	英語
3組	24.2%	45.5%	30.3%	48.5%	51.5%
全国	45.1%	41.1%	45.0%	53.1%	39.4%

英語は約10%も上回るが、国語と数学は10~15%下回る。
国、数の苦手意識が強いあたりは、家庭学習の勉強方法がまだよくわかっていないためか?

2. あなたは、学校の授業をどのくらい理解していますか。

A: ほとんどわかっている	12.1%
B: 70%くらいわかっている	48.5%
C: 50%くらいはわかっている	30.3%
D: わからないことのほうが多い	9.1%

全国調査の集計は教科ごとでした。A, Bの合計でいうと、こんな感じ。
国語 52.8% 社会 42.1% 数学 57.5% 理科 52.3% 英語 45.0%

3. あなたの授業中の様子についてお聞きします。

(1) 「黒板に書かれていなくても、先生の話で大切なことはノートに書く」

A: よくある	B: 時々ある	C: あまりない	D: ほとんどない
15.2%	63.6%	15.2%	6.0%

全国はA, B合計で56.8%だから、なんと22%も上回る結果に!

(2) 「授業でわからないことは、あとで先生に質問する」

A: よくある	B: 時々ある	C: あまりない	D: ほとんどない
0.0%	42.4%	36.4%	21.2%

全国はA, B合計で35.4%だから、こちらは7%ほど上回った。

4. あなたは、ふだん(月曜日~金曜日)、学校の授業以外に1日にだいたい何時間くらい勉強していますか。(学習塾や予備校、家庭教師等も含めてください。)

	3組	全国	増減
A: ほとんどしない	0.0%	12.7%	- 12.7%
B: およそ30分	12.1%	14.0%	- 1.9%
C: 1時間	21.2%	18.7%	+ 2.5%
D: 1時間30分	18.2%	15.7%	+ 2.5%
E: 2時間	24.2%	18.0%	+ 6.2%
F: 2時間30分	9.1%	8.9%	+ 0.2%
G: 3時間	9.1%	6.6%	+ 2.5%
H: それ以上	6.1%	1.8%	+ 4.3%

1~2時間と3時間以上で全国値を上回る。つまり、勉強時間としては多い学級だということ。時間をかけている割に、学習の成果が伸びないのはなぜ? という大きな疑問が残る...

5. あなたはふだん、家でどのくらい勉強をしますか。(学習塾や予備校、家庭教師との学習は除きます)

	3組	全国	増減
A: 家ではほとんど勉強しない	0.0%	12.7%	- 12.7%
B: 1日くらい	12.1%	14.0%	- 7.9%
C: 2~3日	21.2%	18.7%	+ 2.5%
D: 4~5日	18.2%	15.7%	+ 2.5%
E: 週に6~7日	24.2%	18.0%	+ 5.8%

こちら、全国値より勉強する日数が多いことがわかる。
すると、やっぱり勉強の日数と時間は、全国平均よりも上田。
先ほどの疑問が、ますます気になってくる結果となった。

6. テスト(実力テスト)前には、あなたはいつ頃からテスト勉強を始めますか。

選択肢と数値は省略。そして、ここでも、全国値より早い時期からテスト対策に取り組んでいるという結果が判明している。
もしかしたら、勉強の「量」としては、十分だということなのだろうか?

7. あなたは勉強について、次のように思うことがありますか。

(1) 「上手な勉強の仕方がわからない」

A: よく思う B: 時々思う C: あまり思わない D: ほとんど思わない
3組 18.2% 45.5% 36.4% 0.0%

全国は A, B合計で 63.8%だから、4.7%のマイナスという結果。
この結果を、どうみるかで、2年3組の学習への意識を変えるきっかけが
見つかりそうな気がする...

(2) 「どうしても好きになれない科目がある」

A: よく思う B: 時々思う C: あまり思わない D: ほとんど思わない
3組 45.5% 36.4% 18.2% 0.0%

全国は A, B合計で 72.0%だから、9.8%も多い。これは、苦手意識の
高かったあの2教科だろうか？

(3) 「覚えなければいけないことが多すぎる」

A: よく思う B: 時々思う C: あまり思わない D: ほとんど思わない
3組 12.1% 63.6% 18.2% 0.0%

全国は A, B合計で 56.9%だから、8.9%も多い。つまり、全国的には
これくらい覚えるのは、中学2年生として当然だと思っている人が多いと
いうこと。要するに、3組のみんなの意識はちょっと甘いのかも。

(4) 「わかりやすい授業にしてほしい」

A: よく思う B: 時々思う C: あまり思わない D: ほとんど思わない
3組 18.2% 48.5% 27.3% 6.1%

もちろん、そう思って、様々な試み(研究授業とか)をやっているわけ
です。それなのに期待に応えられず、ゴメンなさい。
ところで、全国は A, B合計で 51.3%だから、15.4%も多い。
これは、先ほどの「勉強の仕方」と合わせて考えると、全国的には授業
でわからなかったことを、一人勉強で解決しようとする人が多いが、3組
は「先生が授業の仕方を変えてくれたら...」と頼っているということか？

9. あなたはふだん(月曜日～金曜日) テレビを1日に何時間くらい見ますか。

	3組	全国	増減
A: ほとんどしない	9.1%	3.8%	+ 5.3%
B: およそ30分	0.0%	3.0%	- 3.0%
C: 1時間	0.0%	9.7%	- 9.7%
D: 1時間30分	24.2%	8.2%	+ 16.0%
E: 2時間	24.2%	20.2%	+ 4.0%
F: 2時間30分	15.2%	10.1%	+ 5.1%
G: 3時間	15.2%	17.7%	- 2.5%
H: それ以上	0.0%	21.4%	- 21.4%

全国値の「H: 3時間以上」が 21.4%もいること自体が不思議ですね。
要するに、勉強する人は見ない、勉強しない人はテレビ。
こういう生活リズムから、いわゆる「格差社会」が生まれていくのかも
な...などと思ってしまう。

10. ふだん(学校の授業や宿題以外で) 次のことをどのくらいしますか。

(4) 「新聞のニュースを読む」

A: よくする B: 時々する C: あまりしない D: ほとんどしない
3組 15.2% 54.5% 6.1% 24.2%

全国は A, B合計で 45.5%だから、24.2%も多い。今回の調査でもっとも
差があった項目でした。やっぱり、教室に自由に読める新聞が毎日あるって
いうだけで、こんなに違うんだな...と。ちょっと驚きました。

11. あなたは、自分のからだについて、次のように感じるがありますか。

(3) 「だるい」

A: とてもある B: 少しある C: あまりない D: ほとんどない
3組 21.2% 39.4% 15.2% 24.2%

全国は A, B合計で 75.6%だから、15.0%も少ない結果に。
それだけ3組のみんなは体調管理が上手なのか、それとも、単に全国では
不規則な生活してる人が多いのか？ 全国値よりは良い結果でしたが、60.6%
が「だるい」といっているというのは、実際どうなんだろう？